

大阪にふさわしい大都市制度について

～ 財政調整制度に係る民主・みらいの考え～

大阪にふさわしい大都市制度推進協議会委員

民主党・無所属ネット大阪府議会議員団 幹事長 中村哲之助

OSAKAみらい大阪市議会議員団 政調会長 小林 道弘

第3回協議会での知事・市長案に対する意見（ポイント）

《基本の方針》

- ◆ 二重行政の原因は、府市で十分な協議・調整ができなかったこと。都市制度が原因ではない
- ◆ ダブル選挙で、同じ価値観を有する両トップが誕生。まずは、府市で十分に協議・調整すべき
- ◆ 目指すべき自治の姿は「基礎自治体優先の原則」と「補完性の原理」に則った行動の徹底

【広域自治体のあり方】

- 広域自治体の役割は強力・強大化。分権時代に逆行し「集権化」を目指すもの
- 政策エンジンを1つ消滅させるということは、府民、市民にとって大きなマイナス

【基礎自治体のあり方】

- 特別自治区は、自治の範囲が権限・財源の範囲に限定される「不完全な基礎自治体」
- 仮に再編が必要な場合でも、都市内分権で可能

【二重行政の解消】

- 既に府市統合本部で検討。制度化の必要なし
- 「充実行政」と「悪い二重行政」は区別すべき

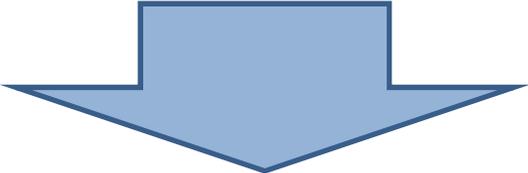
【財政調整】

- 道州制を目指す過渡期であるなら、制度化の必要なし
- 先の読めない時代にあっては、柔軟に対応できる現行制度に優位性
- 財政調整では、大阪都が大きな影響力。特別自治区は都に依存する無力な自治体

4月以降、協議を重ねてきたが

われわれの考えは、第3回協議会で示したとおり、
大阪市を解体・分割する「都構想」には反対。
都市内分権の取り組みにより、
住民自治を強化することは可能

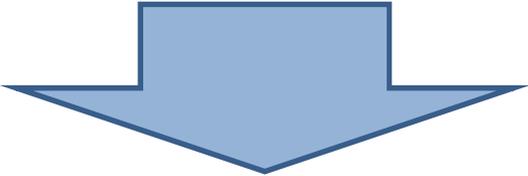
財政調整制度について（特別自治区への再編）

知事・市長案	意見
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 政令市では、住民に近い行政区での住民自治は不十分 ✓ 財政調整を受けるものの、住民が参画しやすく、各区の実情に応じた政策選択が可能な特別自治区とすべき 	<p>特別自治区と普通地方公共団体は、財政調整を受けるかどうかの違いのみと主張されるが</p> <p>総税収約6,260億円のうち、特別自治区に 自主財源として残る税収は、 調整税が3税の場合、<u>38%</u> 調整税が5税の場合、<u>25%</u> となり、 残りは調整交付金に依存</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p><u>これだけの財政制約を受ける自治体が自立した自治体と言えるのか</u></p> <p>自主財源に乏しく、調整交付金に大きく依存する「無力な基礎自治体」ではないか。</p>

財政調整制度について（裁量経費）

知事・市長案	意見
<ul style="list-style-type: none">✓ 各区の裁量の働く経費は、理論値で約2,000億円程度✓ 地域の実情にあった施策選択が可能となる財源を確保	<ul style="list-style-type: none">◆ 2,000億円程度あるとされる「裁量経費」には「水準超過経費」や「単独事業費」が含まれる。 従って、人件費や公債費といった義務的経費も含まれる。  <p>現実には、はるかに下回るのではないか。</p> <ul style="list-style-type: none">◆ 知事・市長案は、この数値を前提にシミュレーションし、いかなる区割りでも財政調整により裁量経費は確保されると主張しているが、一定の前提条件を置いて得た結果だけをもって確保されるとするのは、<u>市民をミスリードしていないか。</u>

財政調整制度について（再編コストなど資料の正確性）

知事・市長案	意見
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 再編により、特別自治区に議会等を設置することによるコスト増を800億円と算定 ✓ これに対しては、 事務の最適化などの工夫 府市統合の効果 不断の行革努力 適切な地方財政措置 等に対応していく ✓ 交付税需要額より増加コストを推計したところ、24区への再編で約800億円増であるが、工夫により約200億円の増に圧縮可能 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 理論値をもったの考え方を示したのみで、具体的な対応策や額を一切示していない。 ◆ しかも添付されている他都市比較は、昼間人口差や都の特例などを考慮せず、単純比較をもってあたかも高コストであるかのように見せており、あまりにも意図的ではないか。 ◆ また、イニシャルコストが含まれていないのは大きな問題。 <div style="text-align: center; margin: 20px 0;">  </div> <p>今後、議論を深めるためにも、<u>適切な分析結果や情報を提供すべき。</u></p>